

調査報告

大学におけるキャリア教育の効果測定

—— 2007年度「キャリア開発」のアンケート調査結果をつうじて ——

三輪憲次*

要 旨

2007年度本学経済学部で開講された「キャリア開発」での開講前と講義終了時の2回にわたって実施した受講生へのアンケート調査を通じて、この科目の教育効果の測定を試み、以下の結論を得た。

まず第1に、「1職種・適性」や「2業種・業界」を考え始めさせる効果は、かなり大きいことが分かる。

1、2と並んで、効果が高いのは、「3履歴書作成」「6グループ・ディスカッション」の2項目である。

改善効果が第3のグループとして、「4エントリーシート」「5筆記試験」の2項目が挙げられる。

「7集団面接」「8個別面接」は、最も改善効果が小さい。

ただし、「3履歴書作成」「4エントリーシート」「5筆記試験」は、講義終了後も、「少し自信がない」の水準にとどまっている。

これに対し、「6グループ・ディスカッション」「7集団面接」「8個別面接」は、講義終了後の自信のない度合いは、先の3項目よりも高いレベルを示している。

キーワード：キャリア教育，教育の効果測定，就職進路選択，履歴書作成，
エントリーシート作成，採用面接

はじめに

本稿は、2007年度本学経済学部で開講された「キャリア開発」での開講前と講義終了時の2回にわたって実施した受講生へのアンケート調査を通じて、この科目の教育効果の測定を試みたものである。なお、この講義の開講内容については、本稿末【参考資料】を参照されたい。

筆者は「名古屋大学キャリア教育シンポジウム」（平成17年11月開催）において「日本福祉大学におけるキャリア教育について」を報告⁽¹⁾した。また翌平成18年11月開催の同シンポジウムにおいては「日本福祉大学におけるキャリア教育と効果測定」と題する事例報告⁽²⁾を行った。そこでこれらを通じて感じたことは、キャリア教育の効果測定を直裁に測定することは、筆者の

* 日本福祉大学経済学部教授

設問1 男女別				設問2 キャリア開発 の履修			
	男	女	総計		単位取得	未取得	総計
講義前	82.3%	17.7%	62 (人)	講義前	79.0%	21.0%	62 (人)
終了時	77.0%	23.0%	61 (人)	終了時	82.0%	18.0%	61 (人)

行った報告も含めてまだあまり存在しないのではないか、という疑問であった。本稿はこのような問題意識の下に、筆者が行ったキャリア開発の授業を通じてその効果を測定してみようとした試みである。

受講者は、2年生以上4年生までであるが、サンプルとしては2年生のみを用いた。回答総数および男女比率は（設問1）の通りである。

また今回アンケートを実施した「キャリア開発」の講義の前の半期に「キャリア開発」の講義が行われているが、アンケート回答者の履修状況は（設問2）の通りである。

設問は、進路・就職についてどの程度考えているか（設問3）および（設問4）と就職のためのスキルを含めた準備に対する認識（設問5）～（設問10）に大別される。

1 進路・就職についての考え

就職について職種（適性）および進みたい業種・業界について、どの程度考えているかを、講義前と講義後に調査し、比較した。結果は以下のごとくである。

1.1 職種（適性）について

設問3 職種（適性）について

	1	2	3	4	総計
講義前	3.2%	37.1%	56.5%	3.2%	62 (人)
終了時	11.5%	54.1%	31.1%	3.3%	61 (人)

1 しっかり考えている	2 ある程度考えている
3 あまり考えていない	4 全く考えていない

1.2 業種・業界について

設問4 業種・業界について

	1	2	3	4	総計
講義前	3.2%	40.3%	54.8%	1.6%	62 (人)
終了時	8.2%	59.0%	31.1%	1.6%	61 (人)

1 しっかり考えている	2 ある程度考えている
3 あまり考えていない	4 全く考えていない

2 就職準備に対する認識

設問5～設問10までの6つの就職のためのスキルに対する準備状況の自己認識（自信）を、講義前と講義後に調査、比較した。結果は以下の如くであった。

2.1 履歴書の作成について

設問5 履歴書の作成について

	1	2	3	4	総計
講義前	1.6%	9.7%	43.5%	45.2%	62 (人)
終了時	6.6%	16.4%	54.1%	23.0%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

設問6 エントリーシートの作成について

	1	2	3	4	総計
講義前	1.6%	9.7%	43.5%	45.2%	62 (人)
終了時	1.6%	18.0%	62.3%	18.0%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

2.2 筆記試験 (SPI) について

設問7 筆記試験 (SPI) について

	1	2	3	4	総計
講義前	0.0%	12.9%	37.1%	50.0%	62 (人)
終了時	3.3%	16.4%	55.7%	24.6%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

2.3 グループ・ディスカッションについて

設問8 グループ・ディスカッションについて

	1	2	3	4	総計
講義前	3.2%	12.9%	53.2%	30.6%	62 (人)
終了時	1.6%	36.1%	44.3%	18.0%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

2.4 集団面接について

設問9 集団面接について

	1	2	3	4	総計
講義前	4.8%	9.7%	53.2%	30.6%	62 (人)
終了時	3.3%	23.0%	49.2%	24.6%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

2.5 個別面接について

設問10 個別面接について

	1	2	3	4	総計
講義前	4.8%	14.5%	56.5%	24.2%	62 (人)
終了時	4.9%	31.1%	37.7%	26.2%	61 (人)

1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

3 キャリア教育の効果測定

以上の結果を用いて、キャリア教育の効果測定するために、以下の処理を行った。各設問について、1の回答へは2ポイント、2への回答には1ポイント、3への回答にはマイナス1ポイント、4への回答にはマイナス2ポイントを与え、その平均値を求めたのが、以下の8つの表である。

3.1 職種・適性 効果 0.587

1	2	3	4	平均
4	23	-35	-4	-0.19355
14	33	-19	-4	0.39344

3.2 業種・業界 効果 0.527

1	2	3	4	平均
4	25	-34	-2	-0.11290
10	36	-19	-2	0.40984

3.3 履歴書作成 効果 0.505

1	2	3	4	平均
2	6	-27	-56	-1.20968
8	10	-33	-28	-0.70492

3.4 エントリーシート 効果 0.439

1	2	3	4	平均
2	6	-27	-56	-1.20968
2	11	-38	-22	-0.77049

3.5 筆記試験 (SPI) 効果 0.422

1	2	3	4	平均
0	8	-23	-62	-1.24194
4	10	-34	-30	-0.81967

3.6 グループ・ディスカッション 効果 0.542

1	2	3	4	平均
4	8	-33	-38	-0.95161
2	22	-27	-22	-0.40984

3.7 集団面接 効果 0.263

1	2	3	4	平均
6	6	-33	-38	-0.95161
4	14	-30	-30	-0.68852

3.8 個別面接 効果 0.315

1	2	3	4	平均
6	9	-35	-30	-0.80645
6	19	-23	-32	-0.49180

キャリア開発 ・ 教育効果の測定値 (総括表)

項 目	効 果
1 職種・適性	0.587
2 業種・業界	0.527
3 履歴書作成	0.505
4 エントリーシート	0.439
5 筆記試験 (SPI)	0.422
6 グループ・ディスカッション	0.542
7 集団面接	0.263
8 個別面接	0.315

3.9 キャリア開発の効果の項目別比較・検討

キャリア開発教育の効果を示す8つの表を比較・検討すると以下のことが言える。

「総括表」から、まず第1に、「1 職種・適性」や「2 業種・業界」を考え始めさせる効果は、かなり大きいことが分かる。

1, 2と並んで、効果が高いのは、「3 履歴書作成」「6 グループ・ディスカッション」の2項目である。

改善効果が第3のグループとして、「4 エントリーシート」「5 筆記試験」の2項目が挙げられる。

「7 集団面接」「8 個別面接」は、最も改善効果が小さい。

ただし、「3 履歴書作成」「4 エントリーシート」「5 筆記試験」は、講義終了後も、平均自己評価がマイナス0.7～マイナス0.8台であり、マイナス1の「少し自信がない」の水準にとどまっている。

これに対し、「6 グループ・ディスカッション」「7 集団面接」「8 個別面接」は、平均自己評価がマイナス0.4～マイナス0.6台と、講義終了後の自信のない度合いは、先の3項目よりも少なくなった。

脚注

- (1) 名古屋大学キャリア教育の推進とカリキュラム開発研究プロジェクト『キャリア教育の推進とカリキュラム構築に関する最終報告書』(平成18年3月)
- (2) 名古屋大学キャリア教育効果検討プロジェクト『キャリア教育の効果をどう把握すればよいのか』(平成19年3月)

【参考資料】

2007年度キャリア開発 開講計画

回数	概 要	講 義 内 容
1	講義の開始にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・講義オリエンテーション（講義概要・履修原則・講義に臨む姿勢等の説明） ・先の講義内容について告知（テキストにかかわる注意）
2	適性検査	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査の実施
3	就職活動の開始にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の全体構成の説明。 ・就職活動スケジュール・適性検査・一般常識・面接についての講義
4	キャリアデザインとライフデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析についての講義 ・実際に自分の将来像をイメージします
5	社会での活躍をイメージする	<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究の方法
6	様々なワークスタイルを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズを訴求し適性検査の結果を参照しつつ社会を知る
7	自分の「ヤル気」発見	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学んだことがどのように社会で役立つか考える
8	エントリーシート面接にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートの記入ポイント解説
9	自分は思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシート完成
10	キャリア研究	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部の就職動向
11	自分の言葉で分りやすく話す	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを知る
12	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでキャリアデザインマップを作成
13	就職とキャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ
14	試 験	